

あかむ

6

June 2013
第710号
平成25年6月1日発行
(毎月1日発行)

[広報]

Public Relations SAMEGAWA

ずっと元気で行ってね。

特集▷健診のススメ

健康づくりの 第一歩



平成25年6月1日発行(毎月1日発行)
第710号(昭和27年9月創刊)

発行/福島県白川郡白川村 編集/白川村役場企画課
〒963-8401 福島県白川郡白川村大字赤坂中野字新宮 39 番地 5

あかむ
Public Relations SAMEGAWA

6 June 2013

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み Episode_04

羽田義美さん 保子さん

赤坂東野字内ヶ電在住/昭和37年1月結婚

知 り合いの紹介がきっかけで出会いました。妻は浅川町に住んでいましたが、会いに行くのも一苦労でした。お互い大工の仕事や農作業が忙しくてなかなか会えなかったうえ、舗装されていない細い砂利道をバイクで移動するしかありませんでしたから。浅川町にあった劇場で映画を見たりしました。

大工の仕事で外に出ている間、妻がお客さんの対応や農業、家畜の世話などいろいろやってくれたおかげで、これまでやってこられました。今は孫の顔を見るのが一番の楽しみ。孫が作ってくれたおかずを食べられることはうれしいです。健康を第一に考えて、無理せずゆっくりと生活したいです。【談】

こちら 村長室

▼「食品からの内部被曝が心配、食べ続けることで健康への影響について」というテーマで、県放射能健康リスク管理アドバイザー・高村教授のお話を聞く機会がありました。

▼「厚生労働省では、新たに食品中の放射性セシウムの基準値を食品からの被ばく線量が年間1ミリシーベルトを上限に設定しました。これは基準値いっぱいまで放射性物質を含んだ食品を毎食一年間食べ続けた場合の内部被ばく線量を考慮して算定された値ですので、一回あるいは一週間程度続けて食べたからといって健康に影響を与えるレベルではありません。また、年間1ミリシーベルトという値は、健康に影響が出ないように安全域を十分にとった上で設定したものです。基準値を超えた食品は流通していませんので、心配せず食べていただいて結構です」というお話でした。

▼村では、放射性物質の検査機器を五台設置し、皆さまの食の安全を守っています。ぜひ、ご利用ください。

大 樂 勝 弘